

PDF-XChanger Editor を使った 電子署名



初版: 2024 年 8 月 22 日
改訂第二版: 2026 年 1 月 10 日

インフラウェア株式会社

内容

1 電子証明書のインストール	3
2 PDF-Xchange Editor の設定	3
2.1 基本設定	3
2.2 タイムスタンプサーバの設定	5
3 電子署名とプロファイルの設定	6
3.1 署名プロファイルの作成	7
3.2 2回目以降の電子署名	11

この文書は、Windows 10 または Windows 11 上の PDF-XChange Editor を用い、JCAN 証明書または 1-2-3 証明書で PDF に電子署名する方法を説明したものです。

Windows、PDF-Xchange Editor は 2024 年 8 月現在の最新版を用いて説明しています。バージョンアップ等により GUI (画面) や操作が変更になる可能性もあることは、ご了承ください。また、当社は電子証明書の発行販売をするものであり、PDF-XChange Editor の機能、操作方法について保証するものではありません。原則として設定や操作方法の詳細は PDF-XChange Editor のマニュアルを参照、あるいは販売元のサポートをご利用ください。

1 電子証明書のインストール

まず、入手した JCAN 証明書または 1-2-3 証明書を Windows の「証明書ストア」に導入します。お手元の PC に JCAN 証明書または 1-2-3 証明書ファイルを用意してください。当社で発行した電子証明書は、お客様が Web 経由でダウンロードすることで入手できます。手順の詳細については、Web サイト

JCAN 証明書の場合

<https://www.infra-ware.net/jcan/get-jcan/>
<https://www.infra-ware.net/jcan/install-jcan/>

1-2-3 証明書場合

<https://www.infra-ware.net/jcan/get-123/>
<https://www.infra-ware.net/jcan/install-123/>

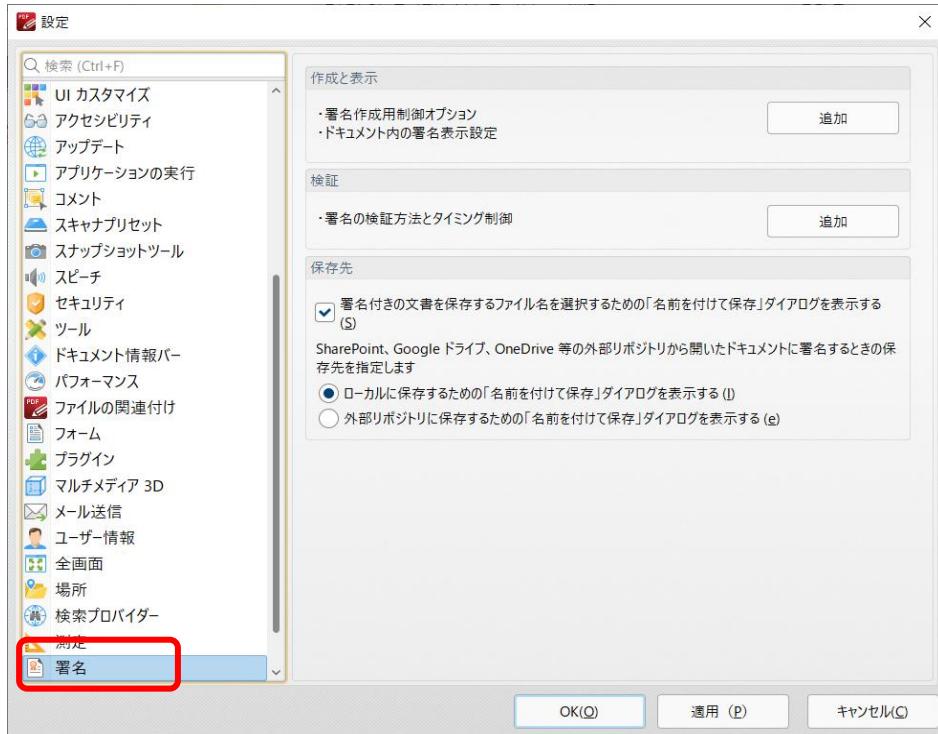
をご覧ください。

2 PDF-Xchange Editor の設定

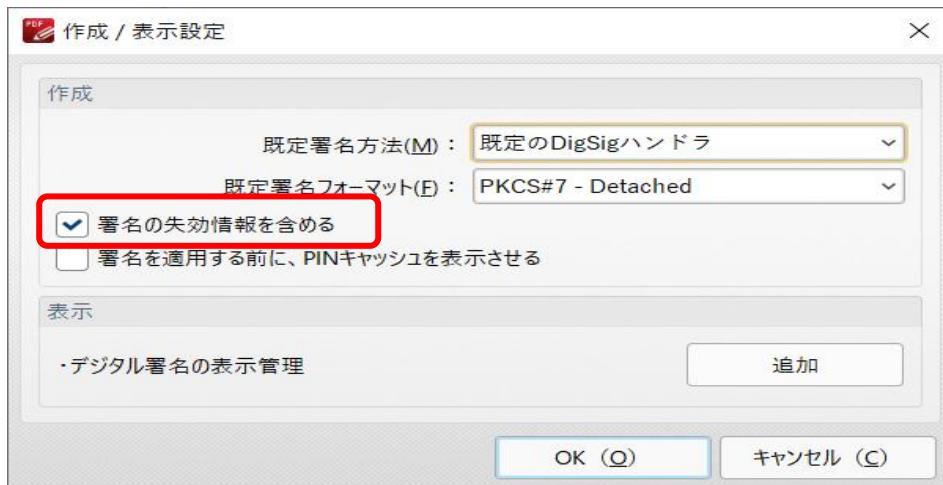
2.1 基本設定

上部メニューの [ファイル] をクリック、表示されるサブメニューから [設定] を選択します。以下のようなダイアログが表示されますので、[署名] を選択して下さい。

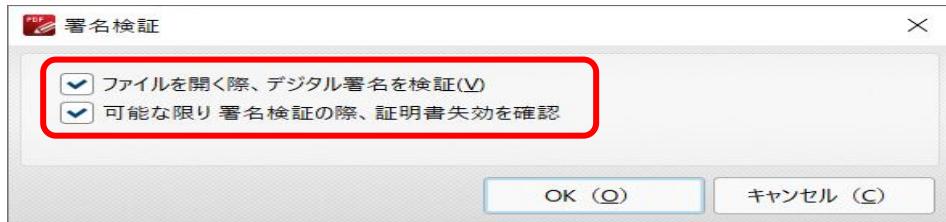
PDF-XChange Editor を使った JCAN 証明書・1-2-3 証明書による電子署名



上ダイアログの【署名作成用制御オプション】の項にある【追加】をクリックします。下記のようなダイアログが表示されますので、【署名の失効情報を含める】にチェックを入れてください。



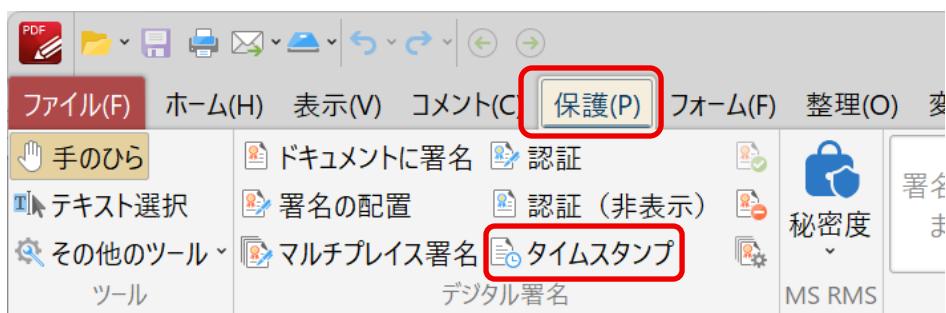
同様に【検証】の項にある【追加】をクリックします。下記のようなダイアログが表示されますので、【ファイルを開く際、デジタル署名を検証】と【可能な限り署名検証の際、証明書失効を確認】にチェックを入れてください。



2.2 タイムスタンプサーバの設定

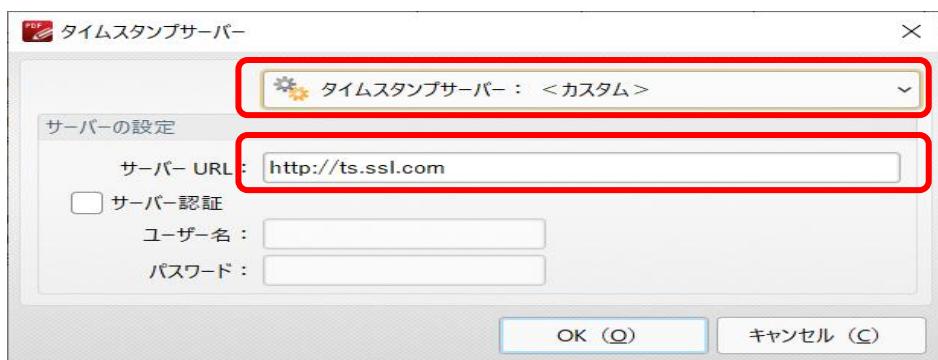
タイムスタンプサーバの設定には、少し特殊な手順が必要です。

まず、内容は何でも構いません、PDF ファイルを PDF XChange Editir で開いてください。



上部メニューの「保護」を選択すると「タイムスタンプ」ボタンが押せるような状態になります。このボタンは、何か PDF ファイルを開いていない状態であると、グレー表示となって押せません。

以下のようなダイアログが表示されます。



[タイムスタンプサーバー:<カスタム>] を選択し、[サーバー UR] には

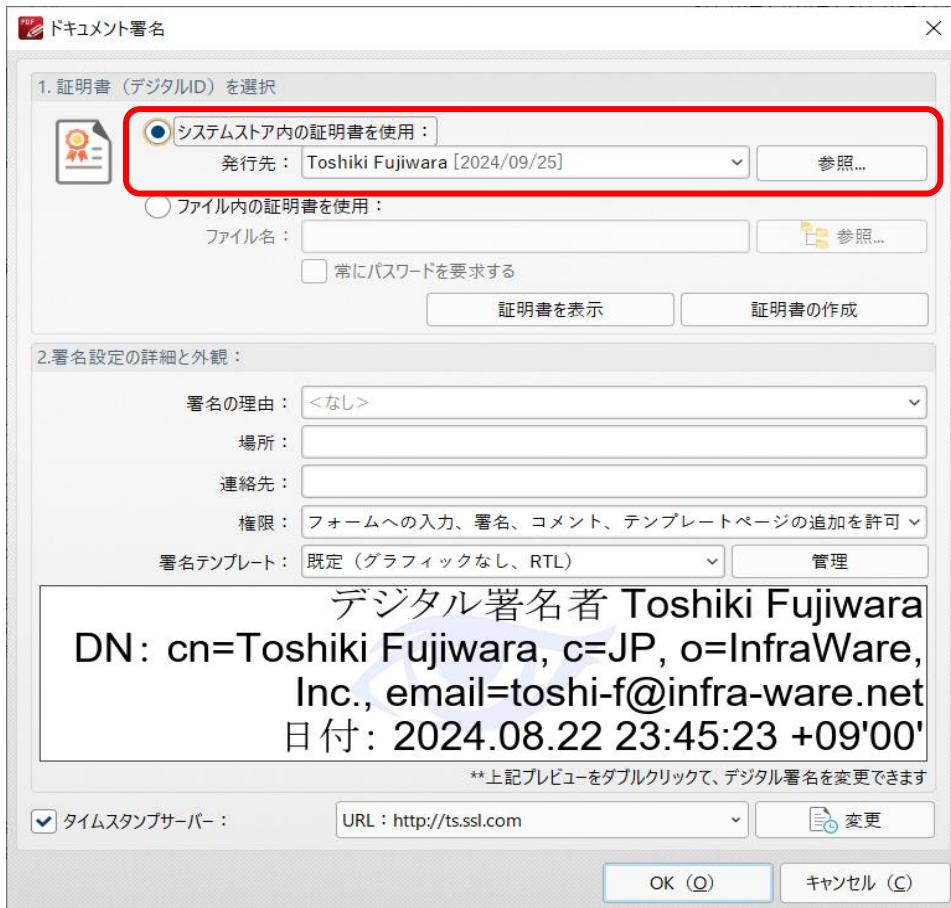
<http://ts.ssl.com>

と入力してください。サーバ認証は不要です。入力後、[OK] をクリックし、ダイアログを閉じます。

3 電子署名とプロファイルの設定

電子署名をする PDF を PDF-Xchange Editor で開いてください。

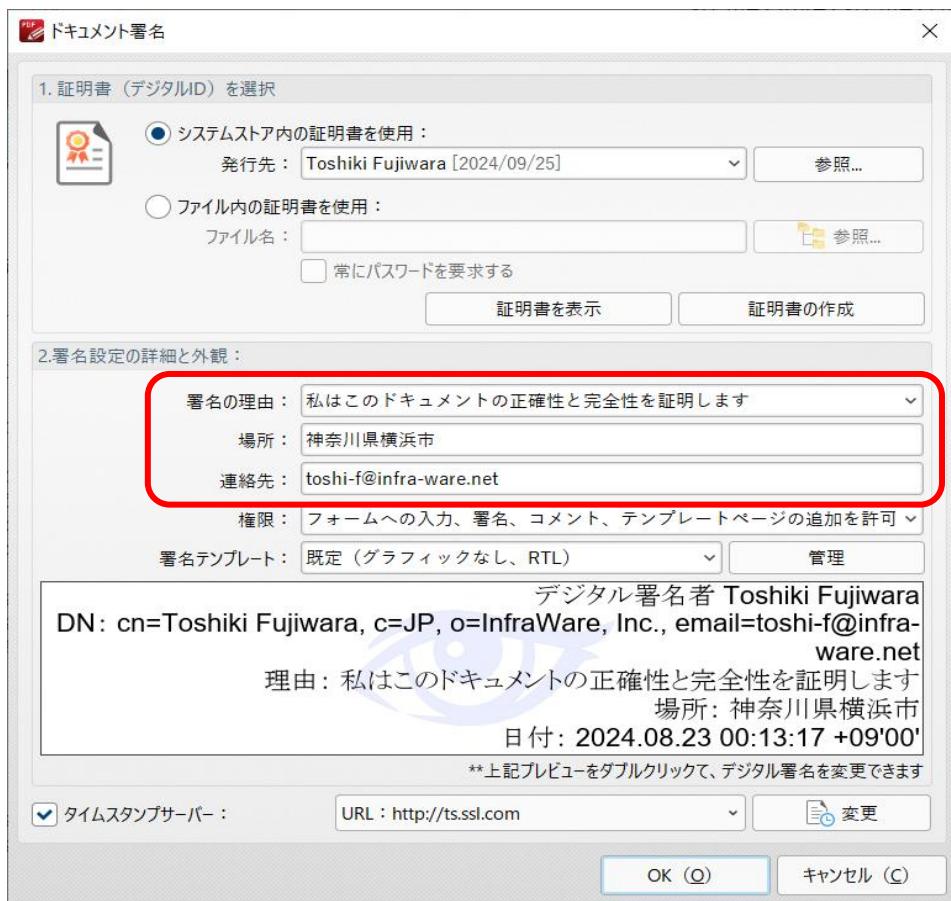
上部メニューの [保護] > [ドキュメントに署名] をクリックします。署名を入れたい部分をマウスでドラッグし、矩形を描くと、下記のようなダイアログが表示されます。



ここで、[システムストア内の証明書を使用] を選択します。これにより 1 項「電子証明書のインストール」で Windows にインストールした証明書が PDF-XChange Editor により認識されるようになります。

[参照] ボタンをクリックし、署名に用いる証明書 (JCAN 証明書であれば「BN-」で始まる名前です) を選択します。インストールされている証明書が一つだけの場合、既に選択された状態になっていることがあります。

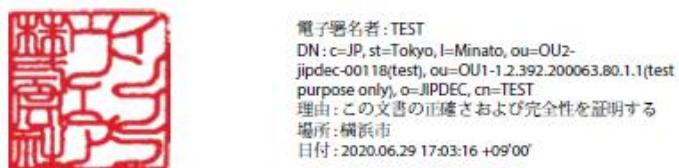
PDF-XChange Editor を使った JCAN 証明書・1-2-3 証明書による電子署名



[署名の理由]、[場所]、[連絡先]には任意の文字を入力可能です。これらの文字が、PDF 上の署名部分に表示されます。

3.1 署名プロファイルの作成

この項目は必須ではありません。署名のプロファイルを作成することで、あらかじめ登録した印影や自署画像などを、PDF 上に見える形で付けることができます（下図の例 2 点、これを可視署名と言います）。



PDF-XChange Editor を使った JCAN 証明書・1-2-3 証明書による電子署名

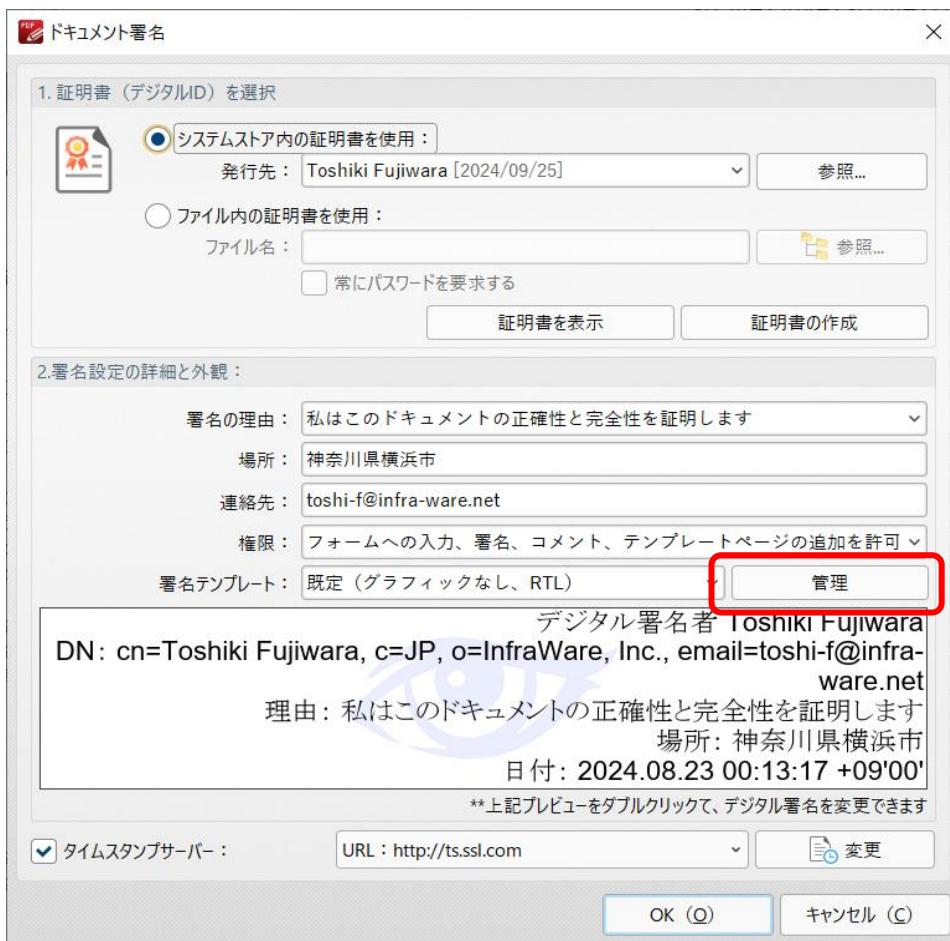
電子署名者: BN-
Fujiwara.Toshiki(InfrawareInc)-RD001
理由: この文書の正確さおよび完全性を
証明する
場所: 横浜市
日付: 2020.06.29 17:03:54 +09'00'

藤原 飯樹

独自の署名プロファイルを定義するには、以下のようにします。また、右側に表示される項目（名前、場所など）の取捨選択も可能です。

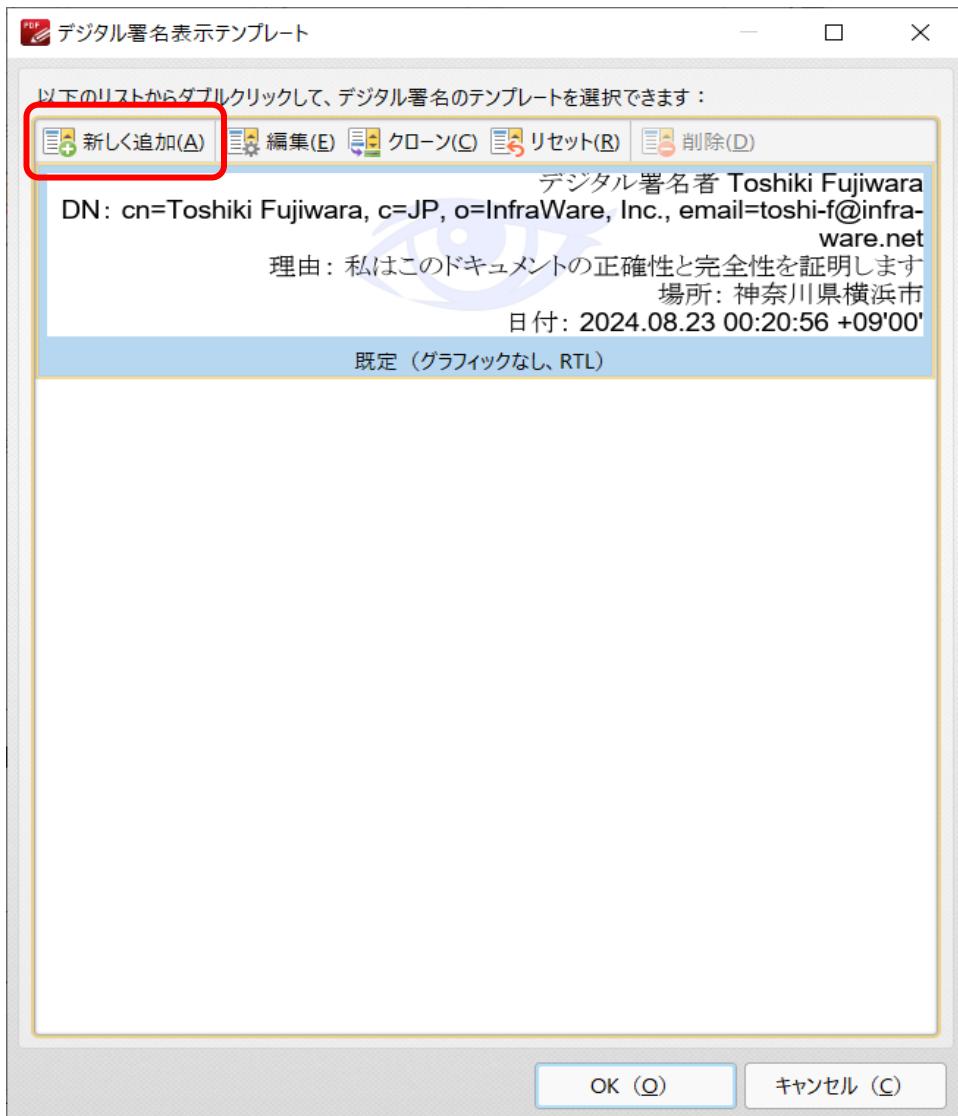
電子署名をする PDF を PDF-XChange Editor で開いてください。

上部メニューの [保護] > [ドキュメントに署名] をクリックします。署名を入れたい部分をマウスでドラッグし、矩形を描くと、下記のようなダイアログが表示されます。



図の赤枠部分、[管理] をクリックします。以下のようないいダイアログが表示されますので、上部の [新しく追加] をクリックします。

PDF-XChange Editor を使った JCAN 証明書・1-2-3 証明書による電子署名



[新しく追加] により、下図のような画面が表示されます。



- [テンプレート名] は、複数のプロファイルを作成した場合、署名時にプロファイルを選択する際に表示される名前です。任意の名前を入力してください。
- [アイコン] を [カスタム] に変更することで、印影や署名画像を挿入することができます。あらかじめ印影、署名などを JPEG 形式で作成しておきます。[名前をアイコンへ] を [カスタム] に変更するとさらにサブメニューが表示されますので、[ファイルから] を選択してください。お使いの PC 上にある JPEG ファイルをアップロードすることができます。
- [背景のロゴ] は [なし] で良いでしょう。
- その他、[テキスト表示] 部分の [名前]、[場所]、[識別名] などはチェックを入れると該当項目が表示されるようになります。

JPEG 画像も含め、ここで設定した内容がダイアログ下部にイメージとして表示されます。このイメージが、PDF 上での署名イメージになりますので、適宜目的、好みに合わせて変更してください。**なお、ここで設定する項目はあくまで PDF 上での見た目であり、電子署名の効力には何ら影響しません。**

また、ここで作成した署名プロファイルは保存され、以後、プロファイル名を選択するだ

PDF-XChange Editor を使った JCAN 証明書・1-2-3 証明書による電子署名

けで何度も同じイメージで電子署名が可能です。以下の例では「会社角印」という名称のプロファイルを作成しました。



この状態で [OK] によりすべてのダイアログを閉じれば、最初にマウスで選択した矩形部分に署名が表示され、同時に PDF 内部に署名情報が埋め込まれます。

3.2 2回目以降の電子署名

2.2 項「タイムスタンプサーバの設定」および 3.1 項「署名プロファイルの作成」を設定しておけば、2回目以降は以下の手順で簡単に電子署名が可能です。

PDF-XChange Editor を使った JCAN 証明書・1-2-3 証明書による電子署名

- 署名したい PDF を PDF-XChange Editor で開く
- 上部メニューから [保護] > [ドキュメントに署名] を選択
- 署名を入れたい部分をマウスでドラッグ
- [ドキュメント署名] というダイアログが開きますので、[署名署名テンプレート] で利用したい署名プロファイルを選択
- [OK] ボタンをクリック
- 保存先のファイル名を入力、保存

以上